

## グループディスカッション ポイントおよび注意事項

別紙のグループディスカッション課題文を読んだうえで、「代理母に賛成か反対か？」というテーマをめぐってグループ内でディスカッションを行い、あなたのグループとしての結論をまとめなさい。なお、以下に注意事項等を挙げますので、しっかりと目を通してください。

1. グループディスカッション課題文は、加藤尚武『応用倫理学のすすめ』丸善ライブラリー、1994年、77-89頁です。
2. グループディスカッション開始までに、課題文をしっかりと読み、内容を理解しておいてください。
3. 1グループは6名程度です。
4. 1グループの持ち時間は20分です。なお、議論の途中であっても、制限時間の20分をもって終了します。
5. グループディスカッションの開始から終了まで、下記6. に挙げる例外を除いて、採点者は、受験生が実施しているグループディスカッションに一切タッチしません。（例えば、採点者が「議論の方向を修正する」「発言回数が少ない受験生に発言を促す」といったことは一切行いません。）
6. グループディスカッション時に、同グループに所属する他の受験生を「罵倒する」「人格を攻撃するような発言をする」「軽蔑する」といった行為は、絶対に行わないでください。これに違反した場合には、「採点者から注意を与える」「失格処分とする」といった措置が行われる可能性があります。
7. グループディスカッションに参加してグループとしての結論をまとめる際には、次の点に特に注意を払ってください。

- (1) 論理的な（筋道を立てて物事を考えるような）発言を心がけてください。単純かつ安易な感情論・印象論に基づく発言を避けるように注意してください。

### 【良い発言例】

グループディスカッション課題文における著者の論理展開を十分に理解したうえで、それに基づいてなされる発言。

- (2) 発言する際には、単に結論（例えば、「代理母に反対である」）だけでなくその結論に至った理由づけも十分に考慮し、他の参加者を理屈に基づいて説得することを心がけてください。

### 【良い発言例】

私は代理母に反対の立場をとります。なぜなら●●だからです。

- (3) 以下に挙げる時間配分を目安にすると、充実したグループディスカッションになるでしょう。

- ①最初の 2 分程度で、参加者の簡単な自己紹介と、役割分担（議長・タイムキーパー・書記など）の決定を行う。
  - ②前半の 8 分程度は、自分自身の意見を論理的・説得的に表明することと、他人の様々な意見に耳を傾けることに重点を置く。
  - ③後半の 8 分程度は、あなたのグループとしての結論をまとめることに重点を置く。
  - ④最後の 2 分程度で、あなたのグループとしての結論を代表者が発表する。
- (4) グループディスカッションの各参加者が表明した意見それ自体で、評価の高低が決まることはありません。

**【例】**

『代理母に反対』という意見を表明した参加者が高い評価、『代理母に賛成』という意見を表明した参加者が低い評価」ということはない。

- (5) グループディスカッションの参加者が少数意見を表明することそれ自体で、評価の高低が決まることはありません。

**【例】**

「代理母に反対」という意見が 5 名続いた後に、参加者 F が 1 名だけ「代理母に賛成」という意見を表明した場合、それ自体で参加者 F の評価が低くなることはない。

- (6) 幅広い観点に目配りすることを意識してください。特に、他人の意見に対して適切に耳を傾けることを、心がけてください。これは、次に挙げる (7) (8) につながります。

**【他のグループディスカッション参加者の意見の適切な聞き方の例】**

結論は、自分自身と同じか違うか？

結論が自分自身と同じである場合、理由づけは自分自身と同じか違うか？

自分自身と同じ理由づけに基づいて、自分自身と違う結論を主張している参加者はいるか？

他の参加者の意見は、どのくらい説得的か？

自分自身は、他の参加者の意見について、どの程度ならば受け入れることが可能か？

- (7) 同じ結論かつ同じ理由づけの意見を、“言いまわし”を変えて表明することは可能です。

**【例】**

参加者 A の「私は代理母に反対の立場をとります。なぜなら●●だからです。」という発言のあとに、参加者 B が「私は A さんと全く同じ意見です。というのも私は◆◆ということを考えているからです。」という発言をすることは可能である。場合によっては、「参加者 B の発言は、参加者 A の発

言を補強する説得的な発言である。」と評価されることもあり得る。

- (8) 最終的には、グループディスカッション参加者の様々な意見を適切に整理したうえで、20分の制限時間内にグループとしての結論を適切にまとめて、代表者が発表することを、強く意識してください。

**【良い発言例①】**

これまでの皆さんの意見をまとめると、AさんとBさんは●●という理由から代理母に反対、Cさんは▲▲という理由から代理母に反対、Dさんは◇◇という理由から代理母に賛成、という立場をとっていたと思いますが、このような整理で間違っていないでしょうか。

**【良い発言例②】**

これまでの皆さんの意見をまとめると、AさんとBさんは●●という理由から代理母に反対、Cさんは▲▲という理由から代理母に反対、Dさんは◇◇という理由から代理母に賛成、という立場をとっていたと思います。そこで、このグループの結論を「代理母に反対。その理由は●●と▲▲。ただし、◇◇という主張に対しては、◆◆という観点から十分な配慮が必要」という方向でまとめるという提案をしたいのですが、いかがでしょうか。

- (9) 以上で述べた(1)から(8)に十分注意を払いつつ、【グループディスカッションで基本的に重要なことは、積極的に自らの意見を述べることである】という点を、再度確認してください。
- (10) 採点の結果、「1グループ6名全員が高い評価」あるいは「1グループ6名全員が低い評価」となる場合もあります。